

第3回 議事録

日時 令和7年9月13日(土) 8時45分から9時25分まで(地域集会室)

出席者 委員：齋藤所長・青木・植木・林・原澤・久保・溝口・小畔・川名・伊藤・鍛冶・古谷
齋藤(地域力推進課) 13名
学校：飯島校長 貝山副校長 2名

1 校長挨拶・児童の様子について〔要旨〕

始業式早々の台風があり、雨で大変でしたが、こどもたちは元気に過ごしている。感染症など世間では流行っているが、本校ではそれほどでもない。この後の田中典子先生の講演にぜひご参加をお願いいたします。

2 学校運営協議会から

- ・先日の台風の時に、下校時にこどもたちがどのようにしていたのか心配しましたが、学校側の対応に安心した。
- ・夏季休業中の水泳授業はできたかとの問いに対し、飯島校長「早朝に時間をずらし、実施しました。全体としては各学年とも10回以上できました。(日よけの設置についても伝えた)」台風や大雨の対応が今後増えてくる。避難訓練に対しての向き合い方をより実践的にしておくと思う。
- ・災害の対応が気になる。以前に庁舎側にあった崖の存在で、当時は大変だった。
→現在は崖がなくなり、庁舎ができて地形も変わったことを伝える。
- ・インフルエンザが流行っていることについての対応を聞きたいとの問いに対し、飯島校長「換気・身支度・手袋をするなど気を付けている」と回答。
- ・夏わくについて、自分自身が入れなかったこと、学校任せにしたことが気になるが、全て募集人員を超えていたのでありがたい。
→飯島校長から、来年度は改築の関係で実施の時期について修正が必要になることを伝えた。
- ・夏わく口座の情報が私達には入ってこない。できたらその情報を知りたい。7月初めの赤松だよりと共にスケジュール配布ができればよいのではないか。
集団下校について先生方が動いてくれたことに感謝である。
- ・自分の孫がいつ帰ってくるのか心配だった。また、このごろは帰るとすぐに公園に行く。状況報告のみ。他は特になし。
- ・夏の行事は大変になっていると感じる。飯島校長「秋も大変たくさんあります」これらの行事などにどのように対応していくか。夏休みのプールのように、時間帯を変えるなどしていくが、これからは、すべての学校行事について天候との関係を考える時期にきている。」

- ・雪ヶ谷の出張所は、防災の関連で本日開けている。天候急変などの時にどうするか、常に考えていければ安心。
- ・PTA としては、「赤松フェスティバルをやる。授業の一環として行う。
- ・夏わくの活動は、1～2年のチームで大会を主催して行った。そして2学期開始直前に合宿をしてきた。銚子の波崎に行ってきた。過ごしやすい気候でよかったが、赤松の児童はほかの学校と比べ、おっとりしている。他の学校はやんちゃ。将来生きていく中で、自分が苦手なタイプの人とも接するための良いトレーニングになった。のではないか。
- ・大谷選手の効果で、少しだけ野球をする人が増えた。生成 AI が発達し、良い面もあるが、(世の中含め、学校内でも、という趣旨で)うまく使っていないと心配である。

3 今後の予定について連絡後に閉会。

終了後、田中典子先生の講演に多くのメンバーが参加。グループごとに発表

次回 11月10日(月) 10:15～